

# KOMATSU

【証券コード】6301

オンライン会社説明会



100<sup>th</sup>  
Anniversary

## 成長戦略とESG課題解決への取り組み

取締役（兼）常務執行役員CFO 堀越 健

2022年2月17日

1. コマツの概要
2. 中期経営計画 – 成長戦略への取り組み –
3. ESG課題解決への取り組み
4. 業績および株主還元について

1. コマツの概要
2. 中期経営計画 – 成長戦略への取り組み –
3. ESG課題解決への取り組み
4. 業績および株主還元について

創業者 竹内 明太郎（高知県宿毛市出身）の志

## 工業富國基

工業は国を富ませる基なり

人材育成こそが工業富國基の基本

- 鉱山機械開発のため小松鉄工所を設立（1917年）
- 1921年5月13日 株式会社小松製作所の誕生

**創業の精神は、遺伝子として受け継がれる**

～世界に通用する技術を生み出し、世界を相手に勝負する～



創業者 竹内 明太郎

◆ 品質第一

◆ 技術革新

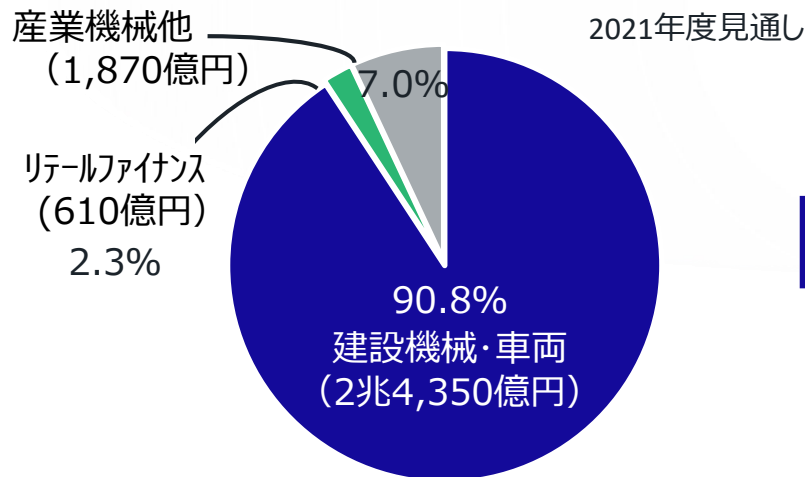
◆ 海外への雄飛

◆ 人材育成

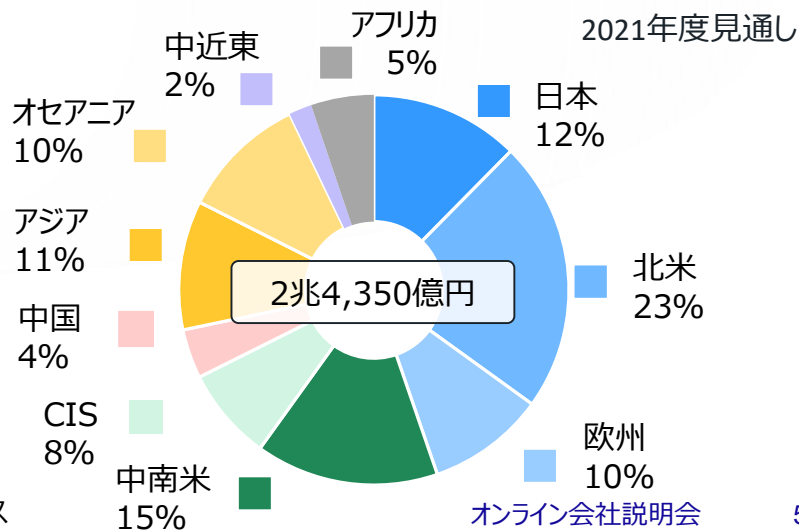
# コマツの概要

- ・設立 : 1921年5月13日
- ・連結売上高 : 2兆6,830億円(2021年度見通し)
- ・営業利益 : 2,820億円(2021年度見通し)
- ・総資産 : 4兆273億円(2021年12月末時点)
- ・連結子会社 : 210(2021年12月末時点)  
(日本) 12社 (海外) 198社
- ・連結従業員数 : 62,453人(2021年12月末時点)  
社員の約67%は外国籍

## 事業別の売上高\*構成



## 建設機械・車両事業の地域別売上高\*構成



# グローバル開発・生産体制

- 開発と生産の一体化： 開発・生産機能を持つ工場＝「マザー工場」
- 主要コンポーネントは日本で開発・生産し、国内で技術革新を生み出す
- 本体の組立は、需要の大きい地域で行う → 海外生産比率65 % (20年度)

## 建設機械・車両の主な生産拠点 (車体工場)

●●●…開発機能を併せ持つ「マザー工場」

### 現地組立・生産の目的

- ① 顧客の信頼を勝ち取る
- ② 品質問題の早期解決
- ③ 現地仕様の取り込み
- ④ リードタイムの短縮
- ⑤ 為替リスク対応

### 地域別の生産拠点数 \*坑内掘り鉋山機械の現地組立工場を含む

米州	欧州 CIS	中近東 アフリカ	アジア	中国	日本	合計
34(1)	14(4)	1	11	9	12(4)	81(9)

( )内はマザー工場数



### ハイブリッドショベルの キーコンポーネント



発電機モーター



旋回電気モーター



キャパシター  
\*セルを除く

海外 生産比率	2018年度	2019年度	2020年度
	61%	66%	65%

1. コマツの概要
2. 中期経営計画 – 成長戦略への取り組み –
3. ESG課題解決への取り組み
4. 業績および株主還元について

## 「社会やステークホルダーからの期待」



## 「コマツの「経営の基本」を実現する成長戦略」



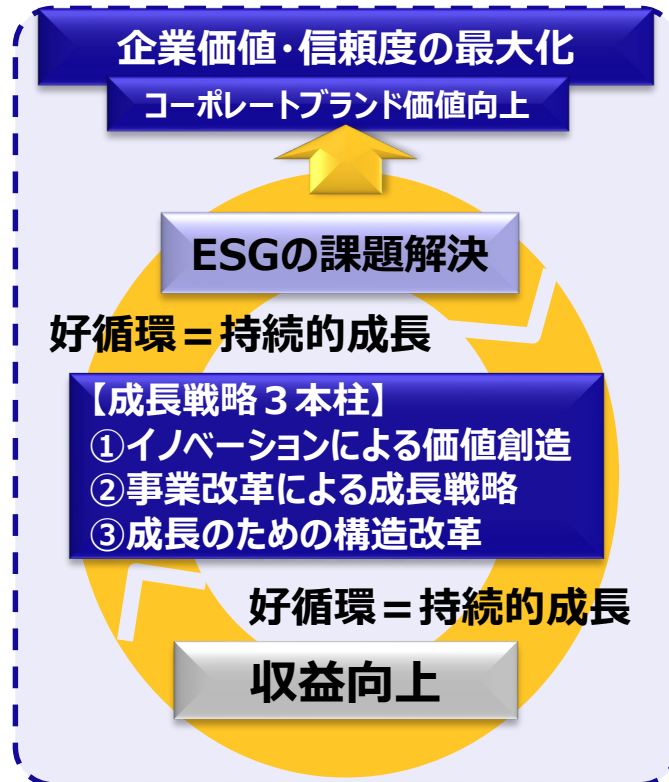
ESG課題の解決  
持続的成長



成長戦略により  
共に成長



持続的収益向上





# デジタルトランスフォーメーション(DX)推進による未来の現場の創造



# 無人ダンプトラック運行システム(AHS : Autonomous Haulage System)

- 2008年コマツが世界で初めて商用導入した、鉱山向け無人ダンプトラック運行システム。
- 新型コロナウイルス感染拡大により、無人化オペレーションを実現するAHSの需要は伸長。2021年度は、中期経営計画の目標台数に既に到達し、更なる増加が見込まれる。
- 4か国、16現場にて477台超が稼働中（2021年12月末現在）



## 超大型油圧ショベル「PC7000-11」の遠隔操作と 無人専用運搬車両「Innovative Autonomous Haulage Vehicle」



決められた走路を走行

【お客様のメリット】

- ①安全性
- ②生産性
- ③環境性

鉱山機械見本市MINExpo2021でのデモンストレーション



➤ 建設・鉱山機械の機種・クラス・地域ごとに様々な方法でアプローチ。

## フル・エレクトリック

フォークリフト・小型建機

バッテリー電動

有線電動



- : 実用化済み
- : 実証実験開始、コンセプト車発表
- : 研究開発開始

## ハイブリッド/ディーゼル・エレクトリック / フル・エレクトリック

中・大型建機

バッテリー電動

ハイブリッド

ディーゼル  
エレクトリック



超大型・鉱山機械（地表）

バッテリー電動

燃料電池

有線電動

ディーゼルエレクトリック

パワーアグノスティック



ハイブリッド

鉱山機械（地下）

バッテリー電動

ハイブリッド



フル電動ミニショベル  
21年5月コンセプトマシン  
発表



電動化マイクロショベル  
21年度中量産開始  
Hondaと共同開発



20トンクラス油圧ショベル電動化  
米国プロテラ社製バッテリーシステム搭載  
【実証実験中】  
23年～24年量産開始



坑内掘りハードロック向け  
鉱山機械の電動化  
米国プロテラ社製バッテリーシステム搭載  
22年度より量産開始



➤ 「持続可能な循環型林業」に貢献するため、植林・造林、育林、伐採のあらゆる工程の機械化を進めている。

## ● 植林分野への新商品導入



植林  
自動運転植林機  
D61EM-23M0



地拵え  
地拵え用機械  
D85EX サブソイラー



## ● 伐採、搬出作業の生産性・安全性向上



伐倒  
油圧ショベルベースの林業機械  
PC130F ハーベスター仕様

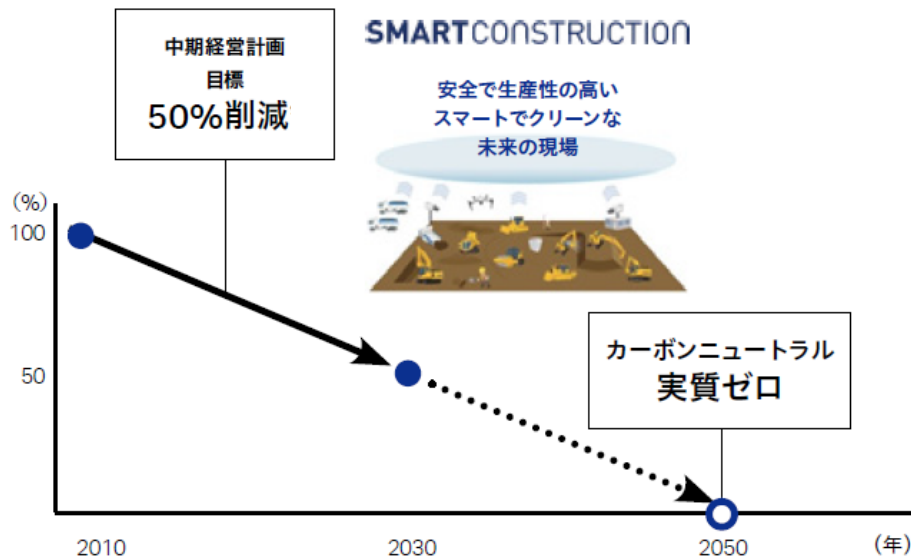


搬出  
傾斜地にも対応する集材作業車  
フォワーダー895

1. コマツの概要
2. 中期経営計画 – 成長戦略への取り組み –
3. ESG課題解決への取り組み
4. 業績および株主還元について



# カーボンニュートラルに向けた取り組み



## コマツの取り組み

生産拠点のカーボンニュートラル

(モノの改善)環境負荷低減を実現する製品開発

(コトの改善)お客さまの現場改善を図るソリューション

林業機械事業によるCO2削減

リマン事業によるCO2削減

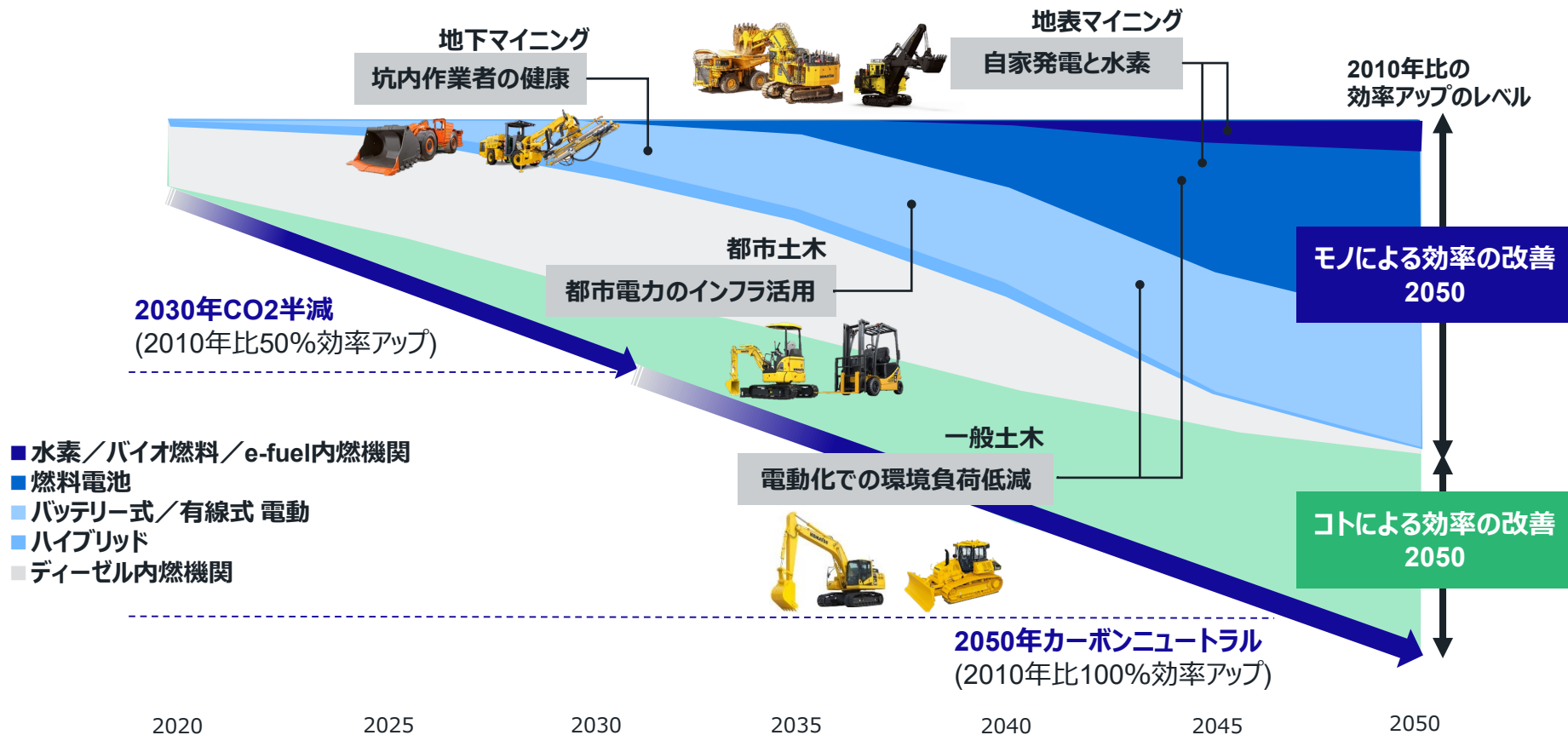
カーボンニュートラルによるビジネス・オポチュニティを見極め、コマツの成長戦略に結びつける。

# 建設機械のサプライチェーンでのCO2排出量



建設機械のサプライチェーンでのCO2排出量は、  
最も高い排出源は「製品使用時」(Scope3カテゴリ11)で、約8～9割を占めている。

# カーボンニュートラルに向けたロードマップ

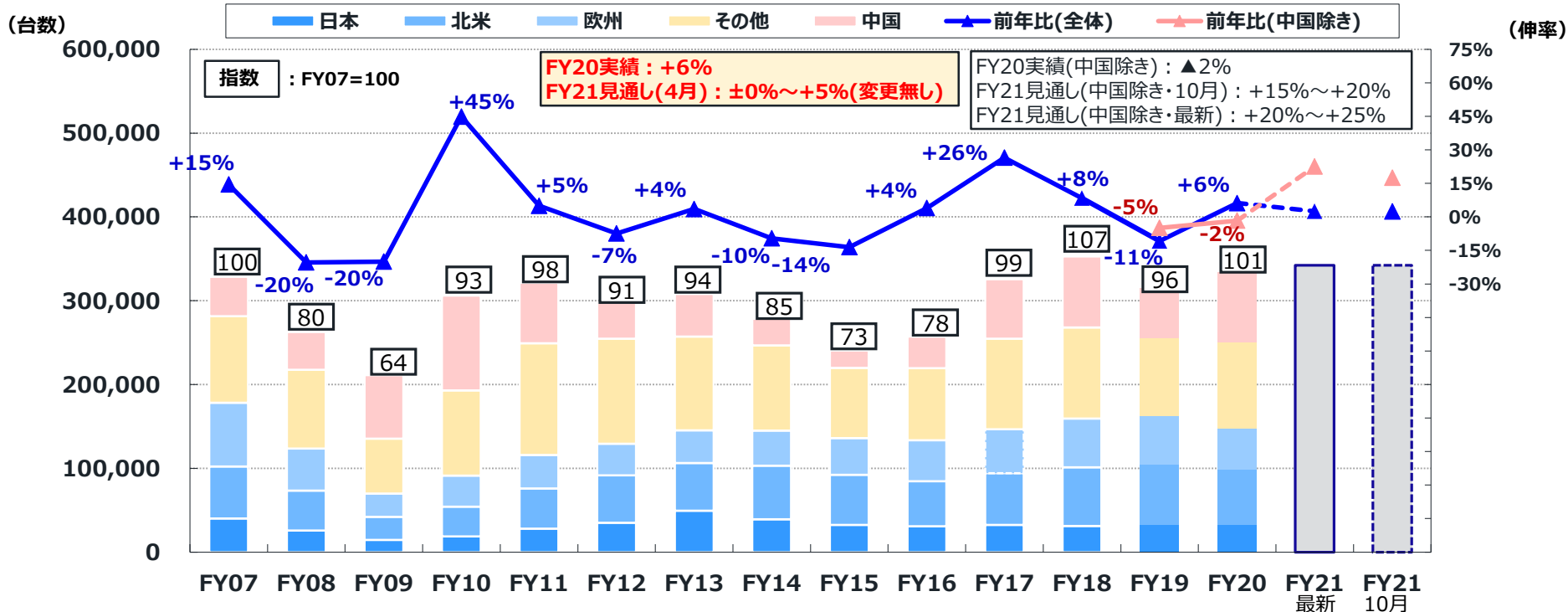




1. コマツの概要
2. 中期経営計画 – 成長戦略への取り組み –
3. ESG課題解決への取り組み
4. 業績および株主還元について

# <建設機械・車両> 主要7建機の需要推移と見通し

- 2021年度第3四半期の需要は、前年同期並み。中国を除く地域では前年同期比+17%の増加。
- 2021年度の需要は、前年比±0%~+5%の見通し（4月見通しから変更無し）。
- 中国を除く地域では前年比+20%~+25%へ見直し。10月見通しに対し、最新の状況を織り込み。



# 2021年度の業績見通し（概要）

- 年間の業績見通しは前回の2021年度見通し（10月）より変更なし。
- 連結売上高は前年比+22.5%増収の2兆6,830億円。営業利益は前年比+68.5%増益の2,820億円。
- 配当金は1株当たり80円。

下期為替の前提 1ドル:107円、1ユーロ:126円、1中国元:16.5円に見直し。

金額単位：億円	2020年度 (A) ¥106.0/USD ¥123.4/EUR ¥15.6/RMB	2021年度 (最新見通し) (B) ¥108.5/USD ¥128.6/EUR ¥16.8/RMB	2021年度 (4月見通し) ¥105.0/USD ¥124.0/EUR ¥16.0/RMB	前年比 (B) - (A)	
				増減	増減率
連結売上高	21,895	26,830	24,690	+4,934	+22.5%
営業利益	1,673	2,820	2,250	+1,146	+68.5%
売上高営業利益率	7.6%	10.5%	9.1%	+2.9 <sup>1</sup> ° <sub>1</sub> 外	-
当社株主に帰属する当期純利益	1,062	1,870	1,460	+807	+76.0%

ROE	5.8%	9.6%	7.6%	+3.8 <sup>1</sup> ° <sub>1</sub> 外
1株当たり配当金（円）※	55円	80円	62円	+25円
連結配当性向	48.9%	40.4%	40.1%	

※ 2020年度の1株当たり配当金には、当社創立100周年の記念配当10円を含む。

# 2021年度の各セグメント売上高と利益の見通し

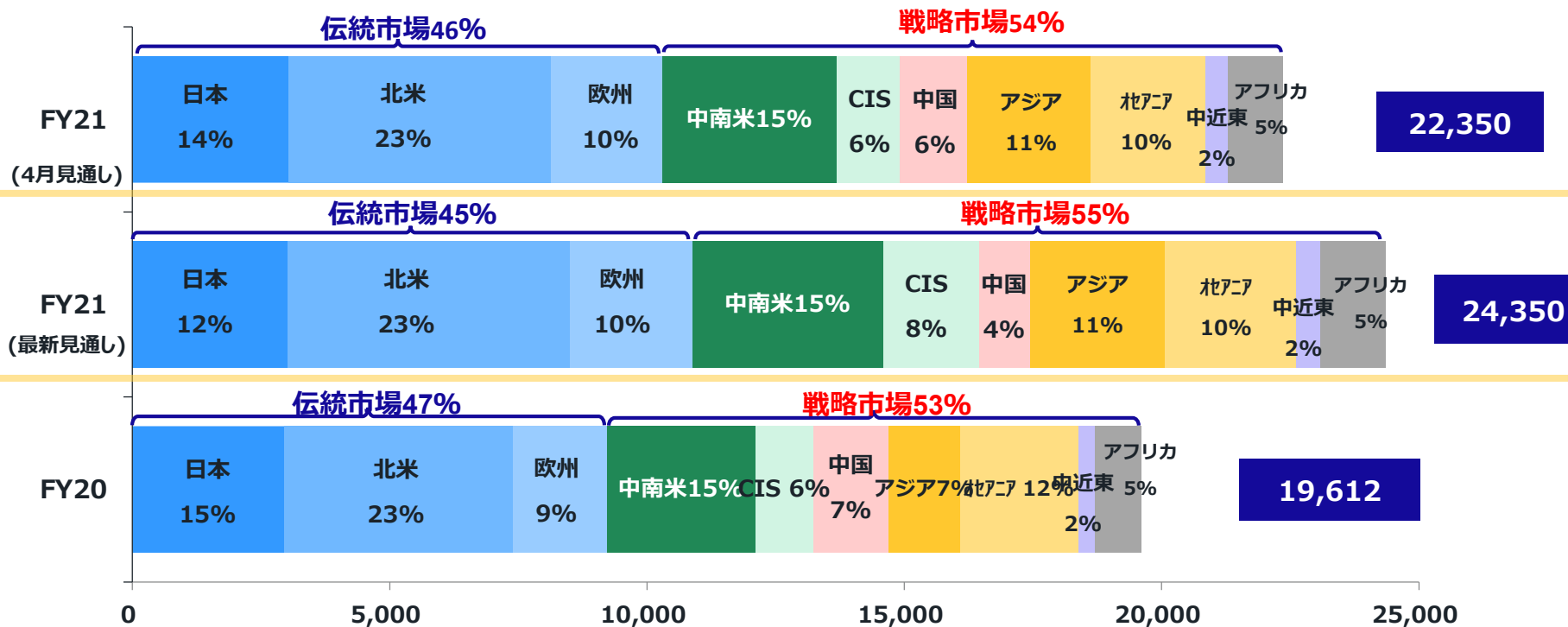
- 建設機械・車両部門の売上高は、2兆4,500億円。セグメント利益は2,490億円。
- リテールファイナンス部門の売上高は、700億円。セグメント利益は130億円。
- 産業機械他部門の売上高は、1,880億円。セグメント利益は190億円。

□ : 利益率 ( ) : 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2020年度 (A)		2021年度 (最新見通し) (B)		2021年度 (4月見通し)		前年比 (B) - (A)			
							増減		増減率	
売上高	21,895		26,830		24,690		+4,934		+22.5%	
建設機械・車両	(19,612)	19,759	(24,350)	24,500	(22,350)	22,430	(+4,737)	+4,740	(+24.2%)	+24.0%
リテールファイナンス	(583)	663	(610)	700	(600)	680	(+26)	+36	(+4.5%)	+5.4%
産業機械他	(1,699)	1,712	(1,870)	1,880	(1,740)	1,750	(+170)	+167	(+10.0%)	+9.8%
消去	▲ 240		▲ 250		▲ 170		▲ 9		-	
セグメント利益	7.9%	1,723	10.5%	2,820	9.1%	2,250	+2.6 <sup>1</sup> ポイント	+1,096	+63.6%	
建設機械・車両	7.3%	1,437	10.2%	2,490	8.8%	1,980	+2.9 <sup>1</sup> ポイント	+1,052	+73.2%	
リテールファイナンス	15.9%	105	18.6%	130	17.6%	120	+2.7 <sup>1</sup> ポイント	+24	+22.9%	
産業機械他	9.5%	163	10.1%	190	9.7%	170	+0.6 <sup>1</sup> ポイント	+26	+16.3%	
消去または全社	16		10		▲ 20		▲ 6		-	

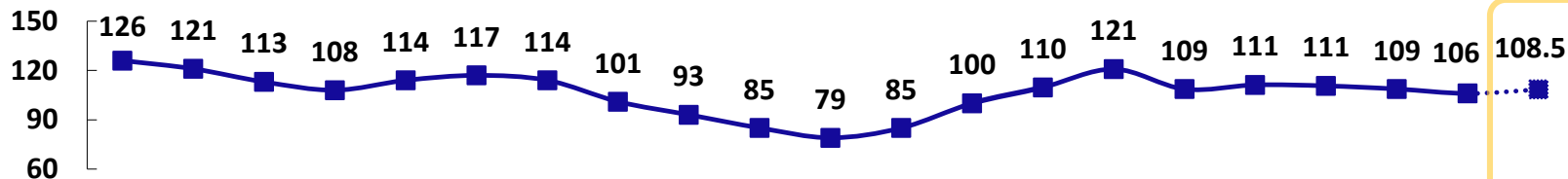
# <建設機械・車両> 2021年度地域別売上高（外部顧客向け）の見通し

- ・外部顧客向け売上高は前年比+24.2%増収の2兆4,350億円。
- ・中国を除くすべての地域で増加。北米、中南米、アジア、CISで大きく増加。戦略市場の比率は55%に上昇。



# 年間業績推移

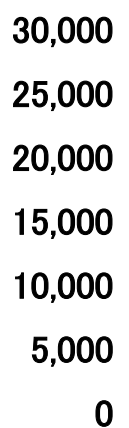
為替レート (円/ドル)



■ 連結売上高 (左軸)    □ 営業利益 (右軸)    ● 売上高営業利益率

売上高

(億円)



営業利益

(億円)



# 中期経営計画の経営目標進捗状況

	経営目標	年度	2019年度	2020年度	2021年度
		指標	実績	実績	見通し
成長性	・ 業界水準を超える成長率	売上高成長率	▲10.3%	▲10.4%	22.5%
収益性	・ 業界トップレベルの営業利益率	営業利益率	10.3%	7.6%	10.5%
効率性	・ ROE 10%以上	ROE	8.6%	5.8%	9.6%
健全性	・ 業界トップレベルの財務体質	ネットD/Eレシオ	0.43	0.35	0.27
株主還元	<ul style="list-style-type: none"> <li>成長への投資を主体としながら、株主還元(自社株買いを含む)とのバランスをとる</li> <li>連結配当性向を40%以上とする</li> </ul>	連結配当性向	57.7%	48.9%	40.4%
ESG	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境負荷低減</li> </ul> CO2排出削減：2030年50%減(2010年比) 再生可能エネルギー使用率：2030年50%	製品使用によるCO2削減	▲14%	▲14%	▲16%※
		生産によるCO2削減	▲32%	▲33%	▲40%※
		再生可能エネルギー使用率	11%	13%	15%※
	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部評価</li> </ul> DJSI選定（ワールド、アジアパシフィック） CDP Aリスト選定（気候変動、水リスク）	環境負荷低減 外部評価	DJSI選定	DJSI選定	DJSI選定
		CDP気候変動 評価 A CDP水リスク 評価 A-	CDP気候変動 評価 A CDP水リスク 評価 A	CDP気候変動 評価 A CDP水リスク 評価 A	
リテールファイナンス事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>ROA 1.5% - 2.0%</li> <li>ネットD/Eレシオ 5倍以下</li> </ul>	ROA	1.5%	1.2%	1.5%
		ネットD/Eレシオ	3.80	3.69	3.79

※2021年度計画値

# 配当方針

- 当社は、持続的な企業価値の増大を目指し、健全な財務体質の構築と競争力強化に努めています。
- 配当金につきましては、連結業績に加え、将来の投資計画やキャッシュ・フローなどを総合的に勘案し、引き続き安定的な配当の継続に努めていく方針です。具体的には、**連結配当性向を40%以上とする方針**です。

## <連結配当性向推移>

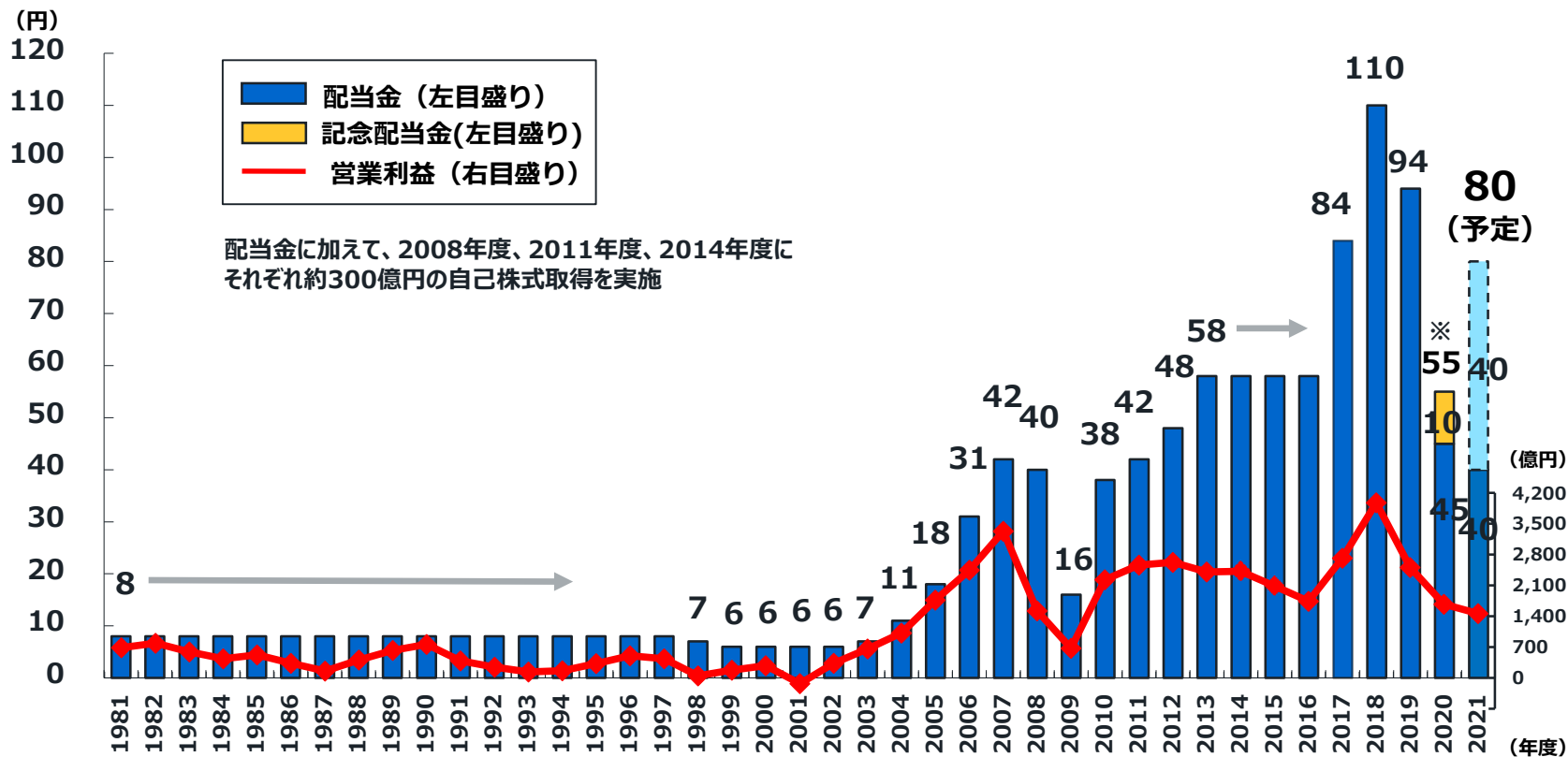
	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21(予想)
配当方針		20%以上		20%~40%					30%~50%			40%~60%			40%~		
連結配当性向 [総還元性向]	16%	19%	20%	40%* [88%]	38%*	24%	24% [42%]	36%	35%	36% [55%]	40%	48%	40%	41%	58%	48.9% ※	40.4%

\* 2008年度、2009年度は構造改革費用を除いたベース

※ 2020年度の1株当たり配当金には、当社創立100周年の記念配当10円を含む。



# 配当金の推移



※ 2020年度の1株当たり配当金には、当社創立100周年の記念配当10円を含む。

# 本日のまとめ

- 2021年5月 創立100周年を迎えました

- コマツの強み

- ① 世界でバランスよくビジネス展開
- ② グローバル開発・生産体制（マザー工場制）

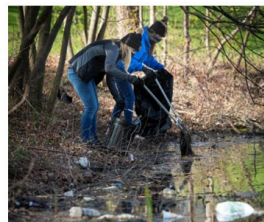
- 成長戦略による収益向上とESG課題解決の好循環で持続的成長を目指す

- ① デジタルトランスフォーメーション推進（機械の自動化・自律化と施工の最適化の両方で未来の現場を創造）
- ② 自動化・自律化、電動化、遠隔操作化の実現を加速（AHS、パートナーとの協業等）
- ③ 2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言

- 業績および株主還元

- ① 2021年度業績見通し：増収増益
- ② 2021年度年間配当は、1株当たり80円、前期より25円増配予定

# ご清聴ありがとうございました。



## 【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

# 動画上映：創立100周年記念ムービー「Komatsu future 203X」

—203X年、コマツのありたい姿を描き、次の100年に向かう—



# 参考資料

# コーポレートアイデンティティー

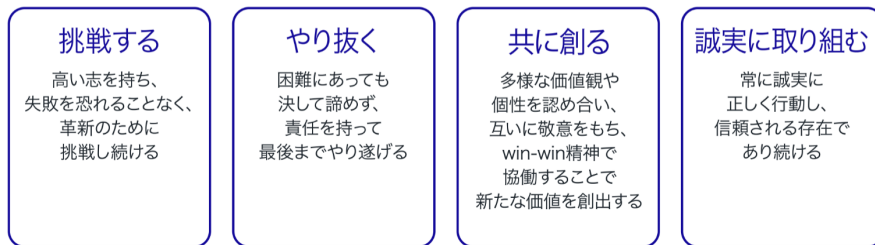
## コーポレートアイデンティティー



## 存在意義

ものづくりと技術の革新で新たな価値を創り、  
人、社会、地球が共に栄える未来を切り拓く

## 価値観



## 戦略と 行動指針



## 経営の基本

「品質と信頼性」を追求し、社会を含むすべての  
ステークホルダーからの信頼度の総和を最大化する



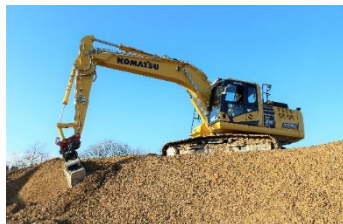
# 主要商品 <建設・鉱山機械>

## ■ 建設・鉱山機械

：インフラ開発や都市化の促進。鉱山資源の採掘。



ブルドーザー



油圧ショベル  
(クローラー式)



油圧ショベル  
(タイヤ式)



ホイールローダー



ダンプトラック



アーティキュレート  
ダンプトラック



モーターグレーダー



フォークリフト  
(バッテリー式)

# 主要商品 <コマツマイニング製鉱山機械>

## ■ 鉱山機械

: コマツマイニング（旧ジョイ・グローバル社）買収によりラインナップ拡充

### <露天掘り向け鉱山機械>



ロープショベル



ドラグライン



ドリル



鉱山機械向けシミュレータ

2019年7月に買収した「イマーシブ社」製

### <坑内掘り向け鉱山機械>



コンティニューアスマイナー

シアラー



ロードホールダンプ



# 主要商品 <林業機械>

## ■ 林業機械

：木材のサステナブルな活用を支える。近年M&Aを通じ林業機械事業を拡充



ハーベスター



フォワーダー



フェリングヘッド

2018年2月に買収した「クアドコ社」製



林業機械シミュレータ

2018年4月に買収した  
「オリックス・シミュレーションズ社」製



フェラーバンチャー

2019年4月に買収した「ティンバプロ社」製



ブルドーザーベース植林機

# 主要商品 <産業機械・その他>

## ■ 産業機械・その他

：自動車業界向け大型プレス・工作機械で世界トップメーカーの一つ。



大型ACサーボプレス  
[コマツ産機]



クランクシャフトミラー  
[コマツNTC]



プレスブレーキ  
[コマツ産機]



ワイヤーソー  
[コマツNTC]



マシニングセンタ  
[コマツNTC]



半導体露光  
装置用光源  
[ギガフoton]










半導体製造用  
温度制御機器  
[KELK]

# スマートコンストラクション

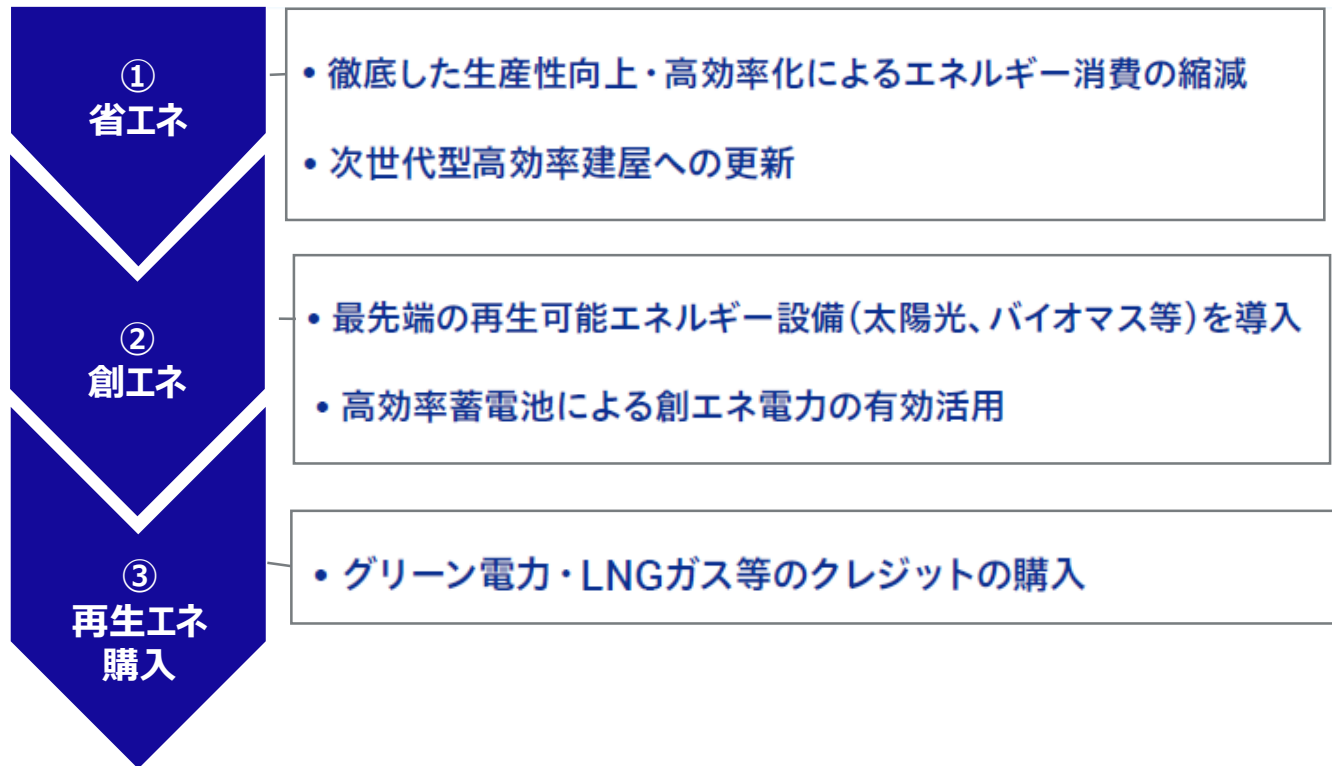


# 成長戦略3本柱によるESG課題の解決

CSR重点分野	成長戦略3本柱によるESG課題の解決	SDGs*との関係
<p><b>生活を豊かにする</b></p> <p>-社会が求める商品を提供する-</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候変動に対応した環境負荷低減や安全に配慮した高品質・高能率な商品・サービス・ソリューションの提供</li> </ul>	<p><b>産業技術革新 持続可能都市</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> </div> <p><b>気候変動</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> </div> </div>
<p><b>人を育てる</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な人材の育成</li> <li>・ダイバーシティ・グローバル人材の強化と育成</li> </ul>	<p><b>経済発展</b></p> <div style="text-align: center;">  <p>8 働きがいも経済成長も</p> </div>
<p><b>社会とともに発展する</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステークホルダーとの協業による社会的課題の解決</li> <li>・責任ある企業行動</li> </ul>	<p><b>持続可能都市 協業</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> </div> </div>

## 本業を通じたESG課題解決

# 生産拠点のカーボンニュートラル



2050年カーボンニュートラル



超断熱を実現する次世代溶解炉のイメージ



屋根一面に太陽光発電パネルを設置したコ  
マツフォレスト新工場  
(2021年8月竣工、スウェーデン・ウメオ)



茨城工場のバイオマスボイラー



# 生産拠点のカーボンニュートラル：コマツフォレスト

- コマツの生産工場として初めてのカーボンニュートラル工場を竣工・生産を開始。
- 林業機械の開発・生産の中核工場の竣工により、林業ビジネスの更なる強化・拡大を図る。

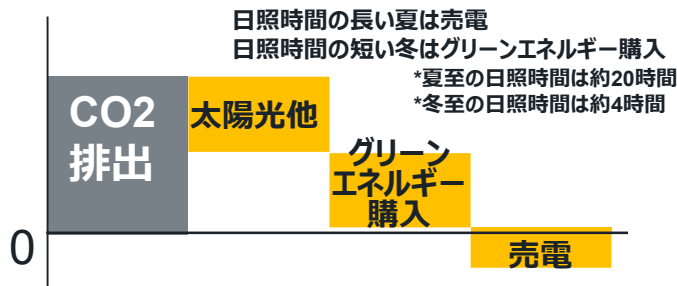


生産品目	林業機械
投資額	約100億円
敷地面積	約133,000m <sup>2</sup>
建屋面積	約 40,000m <sup>2</sup>

## 太陽光発電の導入等で カーボンニュートラル実現



【新工場のCO<sub>2</sub>推移（想定見通し）】



## 工場集約と新技術導入により 生産性30%向上



【生産性向上】



# モノの改善とコトの改善による2つのCO2排出量削減へのアプローチ



# モノの改善とコトの改善による2つのアプローチ

## 製品（モノ）

### ■ 電動化

#### ➢ 機種・クラス・地域別にアプローチ



バッテリー電動



フル電動



パワーアグノ  
ティックトラック

### ■ 燃費性能向上

#### ➢ ハイブリッド車 22%改善 (対従来標準機PC300-10比)



HB335-3

#### ➢ 低燃費車の市場導入 (モデルチェンジでの改善)



WA380-8

×

## ソリューション（コト）

### ■ スマートコンストラクションによる施工の効率向上



### ■ Komtraxによる低燃費運転の提案

### ■ 無人ダンプトラック運行システム（AHS）

### ■ 循環ビジネスによるCO2削減貢献

- 林業機械やシステムによる林業の管理効率化の提案
- リマン事業による資源の節約、廃棄物の削減

製品・ソリューションの改善を通じて社会課題の解決に貢献  
= 収益向上とESG課題解決の好循環による持続的成長



# 2021年度 第3四半期（4-12月）の概況

- ・連結売上高は前年同期比+33.1%増収の2兆146億円。
- ・営業利益は前年同期比+108.1%増益の2,237億円、売上高営業利益率は+4.0ポイント上昇し11.1%。
- ・純利益は前年同期比+135.7%増益の1,555億円。

金額単位：億円	2020年4-12月 ¥106.4/USD ¥122.1/EUR ¥15.4/RMB	2021年4-12月 ¥111.0/USD ¥130.6/EUR ¥17.2/RMB	前年同期比	
			増減	増減率
連結売上高	15,133	20,146	+5,013	+33.1%
セグメント利益	1,082	2,205	+1,123	+103.8%
その他の営業収益（▲費用）	▲ 6	32	+38	-
営業利益	1,075	2,237	+1,162	+108.1%
売上高営業利益率	7.1%	11.1%	+4.0ポイント	-
その他の収益（▲費用）	▲ 41	5	+47	-
税引前純利益	1,033	2,243	+1,209	+117.0%
当社株主に帰属する当期純利益	659	1,555	+895	+135.7%

# 2021年度 第3四半期（4-12月）の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年同期比+33.6%増収の1兆8,455億円。セグメント利益は前年同期比+113.3%増益の1,918億円。セグメント利益率は+3.9ポイント上昇し10.4%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期比+10.2%増収の545億円。セグメント利益は前年同期比+62.5%増益の132億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期比+29.3%増収の1,318億円。セグメント利益は前年同期比+67.8%増益の150億円。

□: 利益率 ( ) : 外部顧客向け売上高

	2020年4-12月		2021年4-12月		前年同期比		
					増減	増減率	
売上高		15,133		20,146		+5,013	+33.1%
建設機械・車両	(13,684)	13,817	(18,406)	18,455	(+4,722)	+4,637	(+34.5%) ) +33.6%
リテールファイナンス	(436)	495	(435)	545	(▲1)	+50	(▲0.3%) ) +10.2%
産業機械他	(1,012)	1,020	(1,304)	1,318	(+292)	+298	(+28.9%) ) +29.3%
消去		▲199		▲172		+26	-
セグメント利益		□ 7.2% 1,082		□ 10.9% 2,205		□ +3.7ポイント +1,123	+103.8%
建設機械・車両		□ 6.5% 899		□ 10.4% 1,918		□ +3.9ポイント +1,019	+113.3%
リテールファイナンス		□ 16.5% 81		□ 24.3% 132		□ +7.8ポイント +51	+62.5%
産業機械他		□ 8.8% 89		□ 11.4% 150		□ +2.6ポイント +60	+67.8%
消去または全社		10		3		▲7	-

コマツへの  
外部評価

ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ  
・インディシズ・ワールドインデックス  
(DJSI)\* 2021年も選定



(世界約2,500社中322社：うち日本企業35社)

CDP\*\* 2021年もAリスト企業と認定  
・気候変動対策  
・水セキュリティ対策



\*DJSI：米国S & Pダウ・ジョーンズ社とスイスのロベコ・サム社によるSRI指標

\*\*CDP：企業や政府が温室効果ガス排出量を削減し、水資源や森林を保護することを推進する国際的な非営利団体

# その他の外部評価

NIKKEI  
**Smart Work**

Awards 2019 審査委員特別賞

日経Smart Work大賞  
2019審査委員特別賞



東京証券取引所  
「企業価値向上表彰」  
大賞



2020年度  
IR優良企業賞



DX銘柄2021  
Digital Transformation

デジタルトランスフォー  
メーション(DX)銘柄  
選定



SBT(Science  
Based Targets)  
認定



S&P/JPXカーボン・  
エフィシエント指数  
構成銘柄

2020 MSCI ESG Leaders  
Indexes Constituent

MSCI Global  
Sustainability Indexes  
選定

Corporate ESG  
Performance

RATED BY  
ISS ESG

Prime

ISS-Oekom  
Machinery業界  
Prime認定



EURONEXT  
VigeoEIRIS  
選定



FTSE Blossom Japan  
Index  
選定

2021 CONSTITUENT MSCIジャパン  
ESGセレクト・リーダーズ指数

MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数  
選定

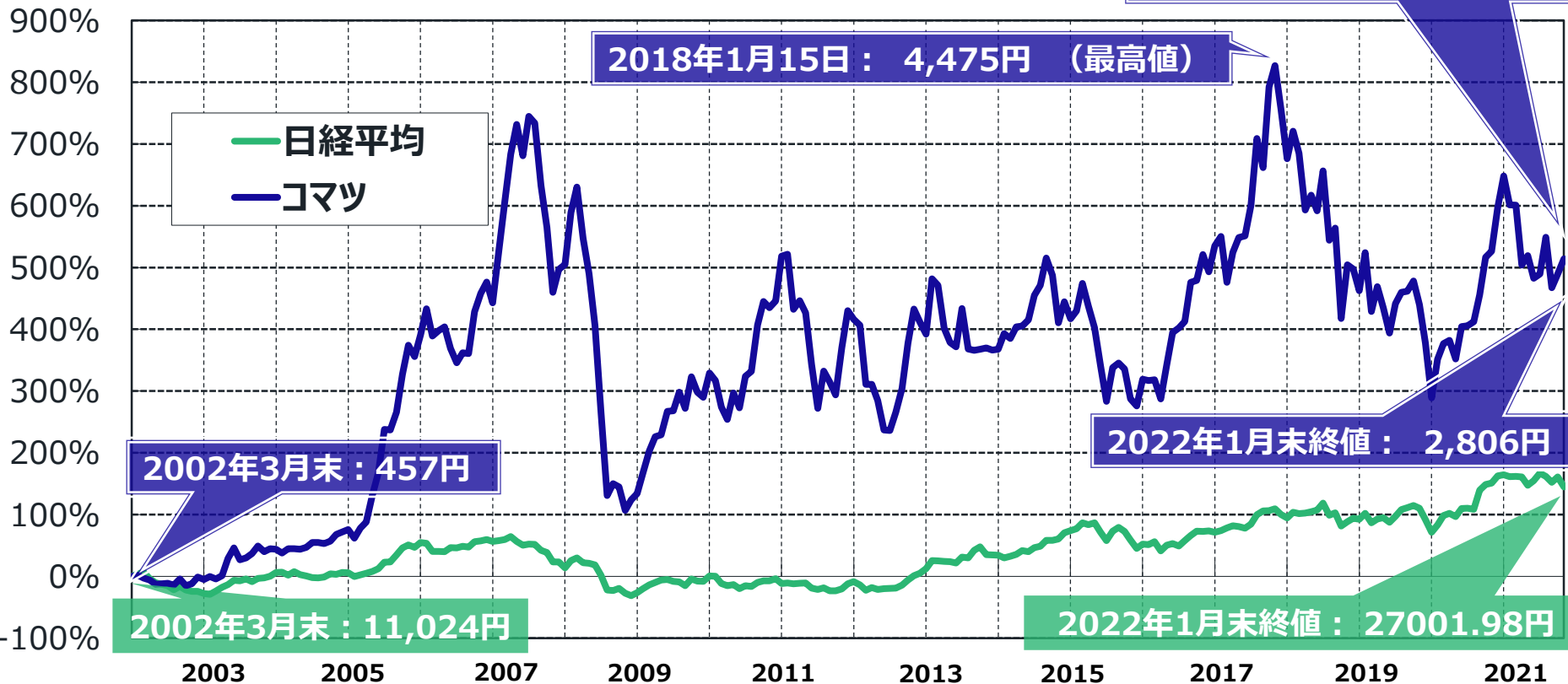
2021 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

MSCI日本株女性活躍指数  
選定

# コマツの株価推移

2002年3月末からの株価変化率（各月の終値ベース）

2021年11月9日：3,123円



# 長期保有株主さまへの感謝品

➤ 当社株式を長期保有いただいている株主さまに感謝品を進呈（2014年7月より制度スタート）



※ 画像はイメージ

- コマツ製品のオリジナルミニチュア(非売品)を対象の株主さまに進呈。
- 2021年度は当社が歩んできた道のりを振り返り、初期の機種、そして、これからの未来を目指してリリースした現代の機種、2機種を進呈。

## 2021年度進呈

- ・G40 コマツ1型均土機
- ・PC30E-5 バッテリー駆動式ミニショベル

## 対象となる株主さま

基準日(毎年3月31日)現在、当社株式の保有期間が**3年以上(\*)**保有し、

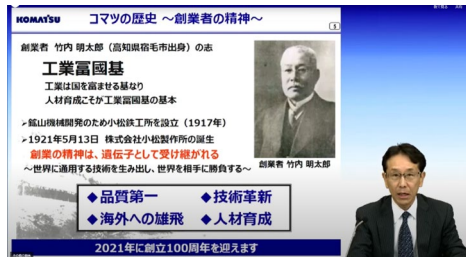
かつ**3単元(300株)**以上を保有の株主さま

\*毎年3月31日および9月30日現在の株主名簿に、同一株主番号で、基準日を含めて7回以上連続して当社株式を保有していたと記載されている方

# 個人投資家・株主さまとのコミュニケーション

## 株主さま向け会社説明会

<20・21年度はオンライン開催>



## 施設見学会の積極開催

<20年度はYouTube公式アカウントに工場見学会動画掲載>



## 個人投資家向け説明会

<20・21年度はオンライン開催>



## 社長のインタビューをウェブサイトに掲示(4回/年)

コマツの強みや今後の見通し、中期経営計画について動画配信



## 中間報告書

直近の事業状況や  
イベントをご紹介  
(郵送)





# 統合報告書（コマツレポート）

コマツの価値創造モデル「成長戦略による収益向上とESG課題解決の好循環」

中期経営計画の成長戦略とESG(CSR・環境・ガバナンス)のKPI、環境、社会、ガバナンスの取り組みを説明

本業(事業活動そのもの)と、環境・CSRの要素を一体で説明することが必要

→投資家の皆さまに対し、中長期的な視野から企業価値向上の取り組みをご説明することを目的として、作成・開示。



【2021年度版】 2021年9月発行

- ◆ 社長メッセージ（次の100年へ向けた経営課題と経営戦略）
- ◆ CFOメッセージ（財務戦略）
- ◆ コマツ100年のアイデンティティー
- ◆ 未来の現場をともにつくるビジネスモデルの進化
- ◆ 成長戦略によるESGの課題解決（KPI、ガバナンス、リスクマネジメント）

<https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/annual>